

2015.4.22

平成 27 年度  
第 1 回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時：平成 27 年 4 月 22 日（水） 16:30～17:30

場所：北海道大学 エンレイソウ 第 1 会議室

出席者（順不動、敬称略）：

西口 規彦（H27 支部長）、足立 智（H27 会計監査）、前田 貴章（H27 釧路幹事）、  
桃野 直樹（H27 室蘭幹事）、原田 康浩（H27 北見幹事）、梅村 信弘（H27 千歳幹  
事）、植村 哲也（H27 庶務幹事）、長浜 太郎（H27 庶務幹事）、村上 尚史（H27  
会計幹事）、江上 喜幸（H27 会計幹事）、熊野 英和（H27 人材教育担当幹事）、橋詰  
保（H27 支部評議員）、田中 之博（H26 会計幹事）、藤原 英樹（日本光学会幹事）、  
以上 14 名

欠席者（順不動、敬称略）：

高橋 庸夫（H27 支部評議員）、横井 直倫（H27 旭川幹事）、篁 耕司（H26 旭川幹  
事）、松浦 俊彦（H27 函館幹事）菅原 智明（H26 函館幹事）、友田 基信（H26 庶  
務幹事）以上 6 名

議事録作成者：

長浜 太郎（H27 庶務幹事）

議題

1. 新旧の支部役員の引き継ぎがなされた（資料 1）
  - ・新役員の自己紹介が行われた。
2. 第 51 回（2016 年 1 月）北海道支部学術講演会について（資料 2-1、2-2、2-3）
  - ・これまでの開催記録と予定について確認が行われた。
  - ・開催日程と会場について審議され、提案通り了承された。  
会場：北海道大学 学術交流会館  
日程：2016 年 1 月 9 日（土）・10 日（日）  
会場・庶務幹事：植村 哲也（H27 庶務幹事）  
人材育成幹事（ジュニアセッション担当）：熊野 英和（H27 人材教育担当幹事）  - ・庶務幹事・植村先生より、講演会までのスケジュールについて説明が行われた。
  - ・例年通り日本光学会北海道地区合同学術講演会となることが確認された（日本光学会幹事の藤原先生も了承済みだが、光学会が応用物理学会からの独立業務で忙殺されているため、事務局業務が停止中。後日確認の上連絡される（5 月中をめどに）。
  - ・会場の詳細、会場費およびジュニアセッションの詳細について議論がなされ、原案

どおりに承認された。ジュニアセッションは札幌開催の北海道支部学術講演会では継続的に開催される予定である。

3. 第 52 回（2016 年 12 月上旬または 2017 年 1 月上旬）北海道支部学術講演会について（資料 2-4）

- ・ 庶務幹事・植村先生より開催日程、場所、講演会までのスケジュールについての計画に関する説明がなされた。

場所：北見市北見工業大学（会場は未定）

日程：2016 年 12 月上旬または 2017 年 1 月上旬月開催予定

会場幹事：原田 康浩（H27 北見幹事）

庶務幹事：長浜 太郎（H27 庶務幹事）

原田先生より補足：基本は 1 月開催。特別講演会かジュニアセッション開催を検討

4. トラベルアワード（仮称）の可能性について（資料 3-1）

- ・ 西口先生より詳細説明がなされた。
- ・ 3 月 18 日応用物理学会本部での支部運営に関する議論の中から発案された。発案理由については資料 3-1 に記載。
- ・ 新規事業として本部に申請し、北海道支部のアピールとするとともに、定期的な財源確保をめざす。
- ・ 他の助成との重複の取り扱いなど運用法について今後前向きに検討し、北海道支部学術講演会に間に合わせたい。

その他の議題

特になし

報告事項

5. 平成 27 年度事業計画（資料 4-1、4-2、4-3、4-4）

- ・ 内容は総会で了承されたもの。
- ・ 庶務幹事・植村先生より、今年度の事業計画について説明が行われた。
- ・ リフレッシュ理科教室の今年度の予定：旭川工業高等専門学校（9 月）、北海道大学（10 月 24 日（土）で検討）、および北海道科学大学（木村先生：12 月）。
- ・ 北見では開催を検討中。内容は小中学校の先生を招いて大学での物理実験。冬休み期間中（北見原田先生）。
- ・ 新規事業：トラベルアワードを検討中

6. 平成 27 年度予算報告（資料 5）

- ・ 会計幹事・村上先生より今年度予算について説明が行われた（尚、予算案については前回の総会において既に村上先生から説明があり、了承済みである）。
- ・ 本部留保が 944,000 円あり、支部から請求できる。27 年度予算案に 40 万は計上してある。早めに全額請求の方向ですすめる。

7. 支部長会議報告、理事会報告

全国大会の会場について。これまでの 7 年周期の地方開催は廃止し、コンベンションセンターの利用を進める方針。それにともなって参加登録料の値上げが予定されている。（新規事業トラベルアワードの必要性。）

8. その他

特になし。

以上